

注3

大学番号：私105

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東邦大学 健康科学部 看護学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東邦大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学事統括部大学学事課

職名・氏名

電話番号 03-5763-6581

（夜間） 03-3762-4151

F A X 03-5863-658

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康科学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

(参考資料) 東邦大学健康科学部FD委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東邦大学

(2) 大学名

東邦大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒274-8510

千葉県船橋市三山二丁目2番1号

(〒143-8540 東京都大田区大森西五丁目21番16号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スミヤマ ヨシノブ) 炭山 嘉伸 (平成21年9月)		
学長	(ヤマザキ ジュンイチ) 山崎 純一 (平成24年7月)	(タカマツ ケン) 高松 研 (平成30年7月)	任期満了のため(元)
学部長	(アサノ ミチエ) 浅野 美知恵 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4年	60人	年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 (-) [-]		60 (-) [-]		60 (-) [-]						1.14倍	1.14倍	
志願者数	635 () () [-] []		585 () () [-] []		430 () () [-] []								
受験者数	627 () () [-] []		579 () () [-] []		428 () () [-] []								
合格者数	144 () () [-] []		149 () () [-] []		148 () () [-] []								
B 入学者数	78 () () [-] []		65 () () [-] []		64 () () [-] []								
入学定員超過率 B/A	1.3		1.08		1.06								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	78 [-] (-)	- [-] (-)	67 [-] (2)	- [-] (-)	64 [-] (0)	- [-] (-)	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		76 [-] (-)	- [-] (-)	66 [-] (-)	- [-] (-)	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		/		75 [-] (-)	- [-] (-)	[]	[]	[]
4年次	/						/		/		[]
計			78 [-] (-)	143 [-] (2)	205 [] (0)	[]					[]

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	78人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	143人	2人	平成29年度	1人	0人	体調不良
			平成30年度	1人	0人	進路変更
令和元年度	205人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		2人		2人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{143} = \boxed{1.39} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{205} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\quad} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1							1	
	情報科学概論	1前	1								1	
	化学	1前	1								1	
	生物学	1前	1								1	
	看護のための物理学	2前	1								1	
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							1
		実用英語ⅠB	1後		1							1
		実用英語Ⅱ	2前	1								2
		医療英語ⅠA	1後		1							1
		医療英語ⅠB	1前		1							1
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3					
		実用医療英語	1後		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
	フランス語入門	1前		1							1	
	中国語入門	1前		1							1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
		プレゼンテーション論	1前	1								1
		スポーツ健康科学	1前		1							1
		スポーツ健康科学実技	1前		1							3
	人文科学	心理学	1前	1								1
		教育学	1前	1								1
		組織論	1前		1							1
		経済学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法学 (日本国憲法を含む)	3前		2							1
		文学	1前		1							1
		人類学	1前		1							1
		哲学	1前		1							1
		倫理学	1前		1							1
小計(32科目)	-	11	22	0	4	0	0	0	0	0	31	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1								1	
	情報科学概論	1前	1									2	
	化学	1前	1									2	
	生物学	1前	1									1	
	看護のための物理学	2前	1									1	
	語学	実用英語ⅠA	1前		1								1
		実用英語ⅠB	1後		1								2
		実用英語Ⅱ	2前	1									3
		医療英語ⅠA	1後		1								1
		医療英語ⅠB	1前		1								2
		実用英語Ⅲ	2前		1								1
		実用英語Ⅳ	4前		1								1
		医療英語Ⅱ	4前		1				3				
		実用医療英語	2前		1								1
		ドイツ語入門	1前		1								1
	フランス語入門	1前		1								1	
	中国語入門	1前		1								1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1						1
		コミュニケーション論	1前	1									2
		プレゼンテーション論	1前	1									1
		スポーツ健康科学	1前		1								1
		スポーツ健康科学実技	1前		1								5
	人文科学	心理学	1前	1									1
		教育学	1前	1									1
		組織論	1前		1								1
		経済学	1前		1								1
		社会学	1前		1								1
		法学 (日本国憲法を含む)	3前		2								4
		文学	1前		1								1
		人類学	1前		1								1
		哲学	1前		1								1
		倫理学	1前		1								1
小計(32科目)	-	11	22	0	4	0	0	0	0	0	38		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								1
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								1
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								1
		生化学	1後	1								1
		臨床栄養学	2前	1								2
		微生物学	1後	1								2
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1					5
		薬理学	1後	2								3
		薬剤学	1後	1								2
		リハビリテーション論	2前	1								1
社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1	
	社会保障制度	3前	2								1	
	研究方法の基礎	3前	1			1					3	
	保健統計と情報処理	3前	1					1				
	疫学と公衆衛生	3前	2								1	
	健康生活支援論	4前	1								1	
	政策形成過程論	3前	1								1	
小計(23科目)			-	30	4	0	2	0	1	0	0	42
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域 臨床看護学	看護学概論	1前	1			2					
		臨床看護学概論	1後	1			1					
		看護倫理学	4前	1			1					
		看護理論	1後	1			3	1				
		トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1			
		看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2	
		機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1				
		周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1		
がん看護・緩和ケア	3前	1			1				1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2									1
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2									1
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2									2
		生化学	1後	1									1
		臨床栄養学	2前	1									2
		微生物学	1後	1									4
		疾病と治療Ⅰ	1後	2									3
		疾病と治療Ⅱ	2前	2									6
		疾病と治療Ⅲ	2前	2									6
		疾病と治療Ⅳ	3前	2									4
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1						5
		薬理学	1後	2									2
		薬剤学	1後	1									2
		リハビリテーション論	2前	1									1
社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2									3	
	社会保障制度	3前	2									3	
	研究方法の基礎	3前	1			1						3	
	保健統計と情報処理	3前	1				1		1				
	疫学と公衆衛生	3前	2									1	
	健康生活支援論	4前	1									1	
	政策形成過程論	3前	1									3	
小計(23科目)			-	30	4	0	3	0	1	0	0	48	
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域 臨床看護学	看護学概論	1前	1			2						
		臨床看護学概論	1後	1			1						
		看護倫理学	4前	1			1						
		看護理論	1後	1			3	1					
		トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1				
		看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2		
		機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1					
		周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1			
がん看護・緩和ケア	3前	1			1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学	感染看護	2後	1			1	1				
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1		
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	2	
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1	
		看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3	
	臨地実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1		
		看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	2	
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	1	
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1	
		臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1		
	ファミリーヘルス看護学	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1			
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1
			援助的人間関係論	4前	1			3				
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1				
			小児看護学方法論	2後	1			1			1	
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1				
			母性看護学方法論	3前	1			1		1		
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1	
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1				
精神看護学方法論	3前		2			1				1		
小児看護学実習	3通		2			1			1	1		
臨地実習	母性看護学実習	3通	2			1		1	1			
	精神看護学実習	3通	2			1				1		
	コミュニティヘルス看護学	1後	1			4		1				
基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	4前	1			3	1	2	3	2		
	コミュニティヘルス看護展開論	4後	1									
	国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1									
	ターミナルケア	4後	1			3	1	2				
	老年看護学概論	1前	1			1						
	看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	1		
	在宅看護概論	2後	1			1		1				
在宅看護学	看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学	感染看護	2後	1			1	1				
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1		
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	3	
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1	
		看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3	
	臨地実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1		
		看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	4	3	
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	4	3	
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1	
		臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1		
	ファミリーヘルス看護学	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1			
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	3	1
			援助的人間関係論	4前	1			3				
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1				
			小児看護学方法論	2後	1			1			1	
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1				
			母性看護学方法論	3前	1			1		1	1	
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1	
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1				
精神看護学方法論	3前		2			1			1			
小児看護学実習	3通		2			1			1	1		
臨地実習	母性看護学実習	3通	2			1		1	1			
	精神看護学実習	3通	2			1			1			
	コミュニティヘルス看護学	1後	1			6		1				
基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	4前	1			4	1	2	3	2		
	コミュニティヘルス看護展開論	4後	1									
	国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1									
	ターミナルケア	4後	1			3	1	2				
	老年看護学概論	1前	1			2						
	看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	2		
	在宅看護概論	2後	1			2		1				
在宅看護学	看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護の基本技術Ⅹ	2後	1			1						
		2後	1			1		2		1		
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1		
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1		1	
	ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		5	4		
		看護研究	4通	2			8	4	5	7		
		看護の役割と実践の探究	4前	1			1	1				
		臨床実践技術の探究	4後	1			1	3	3	5	3	
		看護安全論	4後		1							1
		看護管理論	4前		1							2
		看護哲学	4前		1		4	1				
		チーム活動論	4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習	4前		1							1	
	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1	
	保健師専門科目 実習地	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1		1	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		1		1			
学校保健・産業保健		3前		1							2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		1		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1			
	3後		2		1		1		1			
小計(65科目)			-	70	14	0	8	4	5	7	4	9
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1	2						
	倫理ことはじめ	1前			1	1	1				1	
小計(5科目)			-	0	0	5	3	1	0	0	0	4
合計(125科目)			-	111	40	5	8	4	5	7	4	81
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護の基本技術Ⅹ	2後	1			3						
		2後	1			2		2			1	
	コミュニティヘルス看護領域 臨地実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	1	2
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1	
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1	
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1		
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1	
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			3		1		1	
	ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の統合と実践	看護研究入門	3前	1			4		5	4		
		看護研究	4通	2			9	4	5	8		
		看護の役割と実践の探究	4前	1			2	1				
		臨床実践技術の探究	4後	1			1	3	3	5	3	
		看護安全論	4後		1							1
		看護管理論	4前		1							2
		看護哲学	4前		1		4	1				
		チーム活動論	4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習	4前		1							1	
	看護実践の探究	4前	2			9	4	5	7	4		
	保健師専門科目 実習地	公衆衛生看護学の技術	3前		1		3		1		1	
		公衆衛生看護学活動論	3前		2		3		1			
学校保健・産業保健		3前		1							2	
公衆衛生看護管理論		4後		1		2		1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		3		1		1			
	3後		2		3		1		1			
小計(65科目)			-	70	14	0	10	4	5	8	4	8
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1	2						
	倫理ことはじめ	1前			1	1	1				1	
小計(5科目)			-	0	0	5	3	1	0	0	0	4
合計(125科目)			-	111	40	5	10	4	5	8	4	94
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1								1	
		情報科学概論	1前	1								1	
		化学	1前	1								1	
		生物学	1前	1								1	
		看護のための物理学	2前	1								1	
	語学	実用英語ⅠA	1前		1								2
		実用英語ⅠB	1後		1								2
		実用英語Ⅱ	2前	1									2
		医療英語ⅠA	1後		1								2
		医療英語ⅠB	1前		1								2
		実用英語Ⅲ	2前		1								1
		実用英語Ⅳ	4前		1								1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3						1
		実用医療英語	2前		1								1
		ドイツ語入門	1前		1								1
	フランス語入門	1前		1								1	
	中国語入門	1前		1								1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1						1
		コミュニケーション論	1前	1									2
プレゼンテーション論		1前	1									1	
スポーツ健康科学		1前		1								1	
スポーツ健康科学実技		1前		1								4	
人文科学	心理学	1前	1									1	
	教育学	1前	1									1	
	組織論	1前		1								1	
	経済学	1前		1								1	
	社会学	1前		1								1	
	法学 (日本国憲法を含む)	3前		2								1	
	文学	1前		1								1	
	人類学	1前		1								1	
	哲学	1前		1								1	
	倫理学	1前		1								1	
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	0	33	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1									1
		情報科学概論	1前	1									2
		化学	1前	1									1
		生物学	1前	1									1
		看護のための物理学	2前	1									1
	語学	実用英語ⅠA	1前		1								1
		実用英語ⅠB	1後		1								2
		実用英語Ⅱ	2前	1									3
		医療英語ⅠA	1後		1								1
		医療英語ⅠB	1前		1								2
		実用英語Ⅲ	2前		1								1
		実用英語Ⅳ	4前		1								1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3						1
		実用医療英語	2前		1								1
		ドイツ語入門	1前		1								1
	フランス語入門	1前		1								1	
	中国語入門	1前		1								1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1						1
		コミュニケーション論	1前	1									2
プレゼンテーション論		1前	1									1	
スポーツ健康科学		1前		1								1	
スポーツ健康科学実技		1前		1								3	
人文科学	心理学	1前	1									1	
	教育学	1前	1									1	
	組織論	1前		1								1	
	経済学	1前		1								1	
	社会学	1前		1								1	
	法学 (日本国憲法を含む)	3前		2								1	
	文学	1前		1								1	
	人類学	1前		1								1	
	哲学	1前		1								1	
	倫理学	1前		1								1	
小計(32科目)		-	11	22	0	4	0	0	0	0	0	33	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								2	
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								2	
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								1	
		生化学	1後	1								1	
		臨床栄養学	2前	1								2	
		微生物学	1後	1								6	
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3	
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6	
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4	
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1					5	
		薬理学	1後	2								2	
		薬剤学	1後	1								2	
		リハビリテーション論	2前	1								1	
	臨床遺伝学	2前		1							1		
	臨床心理学	2前		1							1		
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1	
		社会保障制度	3前	2								1	
		研究方法の基礎	3前	1			1					3	
		保健統計と情報処理	3前	1					1				
疫学と公衆衛生		3前	2								1		
健康生活支援論		4前		1							1		
政策形成過程論	3前		1							1			
小計(23科目)			-	30	4	0	2	0	1	0	0	46	
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	看護学概論	1前	1			2					
			臨床看護学概論	1後	1			1					
			看護倫理学	4前	1			1					
			看護理論	1後	1			3	1				
			トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1			
			看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2	
			機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1				
			周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1		
			がん看護・緩和ケア	3前	1			1			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2									1
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2									1
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2									2
		生化学	1後	1									1
		臨床栄養学	2前	1									2
		微生物学	1後	1									4
		疾病と治療Ⅰ	1後	2									3
		疾病と治療Ⅱ	2前	2									6
		疾病と治療Ⅲ	2前	2									6
		疾病と治療Ⅳ	3前	2									4
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1						5
		薬理学	1後	2									2
		薬剤学	1後	1									2
		リハビリテーション論	2前	1									1
	臨床遺伝学	2前		1								1	
	臨床心理学	2前		1								2	
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2									1
		社会保障制度	3前	2									1
		研究方法の基礎	3前	1			1						3
		保健統計と情報処理	3前	1						1			
疫学と公衆衛生		3前	2									1	
健康生活支援論		4前		1								1	
政策形成過程論	3前		1								1		
小計(23科目)			-	30	4	0	2	0	1	0	0	46	
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	臨床看護学	看護学概論	1前	1			2					
			臨床看護学概論	1後	1			1					
			看護倫理学	4前	1			1					
			看護理論	1後	1			3	1				
			トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1			
			看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2	
			機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1				
			周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1		
			がん看護・緩和ケア	3前	1			1			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	感染看護	2後	1			1	1				1	
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1			
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	2		
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1		
	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3		
		臨床実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1		4
			看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	2	
			臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	1	
			臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1	
			臨床実践Ⅲ	3通	2			1	1	1	1		
	ファミリーヘルス看護学 ファミリーヘルス看護学	発達看護論	2前	1			3	1				2	
		ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1		
		援助の人間関係論	4前	1			3						
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護学方法論	2後	1			1			1		
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1		1
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護学方法論	3前	1			1		1			
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1		
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1					
			精神看護学方法論	3前	2			1					1
			臨床実習	小児看護学実習	3通	2			1				1
	母性看護学実習	3通		2			1		1	1			
	精神看護学実習	3通		2			1				1		
コミュニティヘルス看護学 コミュニティヘルス看護学	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			4		1			2		
	コミュニティヘルス看護展開論	4前	1			3	1	2	3	2			
	国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1										
	ターミナルケア	4後	1			3	1	2					
	老年看護学	老年看護学概論	1前	1			1						
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1		1	
	在宅看護学	在宅看護概論	2後	1			1		1				
		看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1		3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	感染看護	2後	1			1	1				3	
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1			
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	2		
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1		
	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3		
		臨床実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1		3
			看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	2	
			臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	2	
			臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1	
			臨床実践Ⅲ	3通	2			1	1	1	1		
	ファミリーヘルス看護学 ファミリーヘルス看護学	発達看護論	2前	1			3	1				1	
		ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1		
		援助の人間関係論	4前	1			3						
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護学方法論	2後	1			1					1
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1		1
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護学方法論	3前	1			1		1			
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1		
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1					
			精神看護学方法論	3前	2			1					1
			臨床実習	小児看護学実習	3通	2			1				1
	母性看護学実習	3通		2			1		1	1			
	精神看護学実習	3通		2			1				1		
コミュニティヘルス看護学 コミュニティヘルス看護学	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			4		1			2		
	コミュニティヘルス看護展開論	4前	1			3	1	2	3	2			
	国際保健論(災害看護論を含む)	4後	1										
	ターミナルケア	4後	1			3	1	2					
	老年看護学	老年看護学概論	1前	1			1						
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1		2	
	在宅看護学	在宅看護概論	2後	1			1		1				
		看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1		3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護の基本技術Ⅹ	2後	1			1						
		2後	1			1		2		1		
		2後	2				1			1	1	
		2後	1				1			1	1	
		2後	1				1		1		1	
		2後	1				1		1		1	
	コミュニティヘルス看護領域 在宅看護実習 コミュニティヘルス看護実習	1後	1				1		1		1	3
		3後	1				1		1	1	1	
		3後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1		1	
	ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の研究 看護の役割と実践の探究 臨床実践技術の探究 看護安全論 看護管理論 看護哲学 チーム活動論 チーム医療演習	3前	1			4		5	4			
		4通	2			8	4	5	7			
		4前	1			1	1					
4後		1			1	3	3	5	3			
4後			1								1	
4前			1								2	
4前			1		4	1						
4前			1		3	2	2	5				
公衆衛生看護学 看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1		
	4前	2			8	4	5	7	4	1		
保健師専門科目 公衆衛生看護学 学校保健・産業保健 公衆衛生看護管理論	3前		1		1		1	1			2	
	3前		2		1		1	1				
	3前		1		1		1	1				
	4後		1		1		1	1				
公衆衛生看護学 在宅実習	3後		2		1		1	1		1		
	3後		2		1		1	1		1		
小計(65科目)		-	70	14	0	8	4	5	7	4	15	
自由科目 生物学入門 化学入門 文章表現入門 千葉県の地域医療 倫理ことばはじめ	1前			1							1	
	1前			1							1	
	1前			1		1					1	
	1前			1	2						1	
	1前			1	1	1					1	
小計(5科目)		-	0	0	5	3	1	0	0	0	4	
合計(125科目)		-	111	40	5	9	4	5	7	4	93	
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	公衆衛生看護学 看護の基本技術Ⅹ	2後	1			1						
		2後	1			1		2		1		
		2後	2				1			1	2	
		2後	1				1			1	1	
		2後	1				1		1		1	
		2後	1				1		1		1	
	コミュニティヘルス看護領域 在宅看護実習 コミュニティヘルス看護実習	1後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1	1	1	
		3後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1		1	
		3後	1				1		1		1	
	ブレ・プロフェッショナル看護領域 看護の研究 看護の役割と実践の探究 臨床実践技術の探究 看護安全論 看護管理論 看護哲学 チーム活動論 チーム医療演習	3前	1			4		5	4			
		4通	2			8	4	5	7			
		4前	1			1	1					
4後		1			1	3	3	5	3			
4後			1								1	
4前			1								2	
4前			1		4	1						
4前			1		3	2	2	5				
公衆衛生看護学 看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1		
	4前	2			8	4	5	7	4	1		
保健師専門科目 公衆衛生看護学 学校保健・産業保健 公衆衛生看護管理論	3前		1		1		1	1			1	
	3前		2		1		1	1				
	3前		1		1		1	1			2	
	4後		1		1		1	1				
公衆衛生看護学 在宅実習	3後		2		1		1	1		1		
	3後		2		1		1	1		1		
小計(65科目)		-	70	14	0	8	4	5	7	4	10	
自由科目 生物学入門 化学入門 文章表現入門 千葉県の地域医療 倫理ことばはじめ	1前			1							1	
	1前			1							1	
	1前			1		1					1	
	1前			1	2						1	
	1前			1	1	1					1	
小計(5科目)		-	0	0	5	3	1	0	0	0	4	
合計(125科目)		-	111	40	5	9	4	5	7	4	87	
卒業要件及び履修方法												
必須科目111単位、選択科目14単位以上、合計125単位以上の単位を修得し、到達度試験を受験した者について、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。 履修に際してはアドバイザーの指導により、学生の状況に合わせ履修させる。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・申請時のご記入により、「実用医療英語」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・入学定員超過により、「実用英語ⅠA」「実用英語ⅠB」「医療英語ⅠA」「医療英語ⅠB」「スポーツ健康科学実技」「看護の基本技術Ⅰ」「看護入門実習Ⅱ」「看護入門実習Ⅰ」の兼任講師または兼担講師を各1名増員。
- ・担当予定者勤務地変更により、「人体の構造と機能Ⅰ」「人体の構造と機能Ⅱ」の科目に兼任講師を1名増員。
- ・実習の円滑・安全な実施のため、「微生物学」の兼任講師を4名増員。
- ・「薬理学」においては、兼担講師の退職により1名減員。

【平成30年度】

- ・入学定員超過となっていた平成29年度入学者が2年次に進級したため、平成29年度に兼任講師・兼担講師等で増員した1年次開講科目のうち、以下の科目について担当者の減員を行った。
「実用英語ⅠA」「医療英語ⅠA」「スポーツ健康科学実技」「微生物学」「看護の基本技術Ⅰ」「看護入門実習Ⅱ」「看護入門実習Ⅰ」
- ・2年次開講科目は履修学生が増員することから、「実用英語Ⅱ」について兼任講師の増員を行った。
- ・演習および実習科目について、一部の助手の採用を前倒しし、「看護の基本技術Ⅱ」「看護実践の基礎」「臨床実践Ⅰ」「看護の基本技術Ⅶ」「老年看護学実習Ⅰ」の5科目の担当者として追加した。
- ・本年度より「非常勤助手」の職階を設定し、「看護の基本技術Ⅱ」「看護の基本技術Ⅲ」「看護実践の基礎」「臨床実践Ⅰ」の担当者として追加した。
- ・科目内容の見直しにより、「情報科学概論」「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ」および「臨床心理学」の担当教員数を変更した。

【令和元年度】

- ・平成29年4月採用の教授1名（美ノ谷新子）の担当科目が授業科目表に反映されていなかったため修正を行った（保健統計と情報処理、コミュニティヘルス看護概論、コミュニティヘルス看護展開論、老年看護学概論、公衆衛生看護学概論、コミュニティヘルス看護実習、看護研究、看護の役割と実践の探究、看護実践の探究、公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護管理論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱ、在宅看護概論）。
- ・教員の新規着任等の事由により、看護実践の基礎、臨床実践Ⅰ、ファミリーヘルス看護論、小児看護学方法論、母性看護学方法論、精神看護学方法論、精神看護学実習、コミュニティヘルス看護概論、看護の基本技術Ⅱ、コミュニティヘルス看護実習、看護研究、公衆衛生看護学の技術、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱの担当者数を変更した。
- ・兼任・兼担担当科目の科目内容の変更または担当者の辞退により、担当者数を変更した（化学、スポーツ健康科学実技、法学（日本国憲法を含む）、保健医療福祉行政論、社会保障制度、政策形成過程論、精神看護学実習）。
- ・平成30年度の報告の際、医療英語Ⅱの担当者を誤って報告していたため、今回修正した（准教授3⇒教授3）。

【令和2年度】

- （注）

- ・ 2（1）① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
84 科目	36 科目	5 科目	125 科目	84 科目 [0]	36 科目 [0]	5 科目 [0]	125 科目 [0]	

- （注） 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	○校舎敷地 (借用) 須佐知行 1014.87 m ² S47.31~ H44.02.末 R14.02.末 誤記入のため。(29) 薬草園売却のため。(元)		
	校 舎 敷 地	170,138.14 m ² 179,239.24 m ² 177,927.94 m ²	0 m ²	0 m ²	170,138.14 m ² 179,239.24 m ² 177,927.94 m ²			
	運 動 場 用 地	54,338.16 m ² 55,511.07 m ²	0 m ²	0 m ²	54,338.16 m ² 55,511.07 m ²			
	小 計	224,476.30 m ² 234,750.31 m ² 233,439.01 m ²	0 m ²	0 m ²	224,476.30 m ² 234,750.31 m ² 233,439.01 m ²			
	そ の 他	12,426.51 m ² 26,578.60 m ² 27,941.85 m ²	0 m ²	0 m ²	12,426.51 m ² 26,578.60 m ² 27,941.85 m ²			
	合 計	236,902.81 m ² 261,328.91 m ² 260,980.86 m ²	0 m ²	0 m ²	236,902.81 m ² 261,328.91 m ² 260,980.86 m ²			
(2) 校 舎	専 用	115,171.17 m ² 102,776.81 m ² 129,278.34 m ²	0 m ²	0 m ²	115,171.17 m ² 102,776.81 m ² 129,278.34 m ²	誤記入のため。(29) 延べ床面積で算出したため。 (元)		
	(115,171.17 m ²) (102,776.81 m ²) (129,278.34 m ²)	()	()	()	(115,171.17 m ²) (102,776.81 m ²) (129,278.34 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 びびセンターの大幅な改修のため (30)		
	81室	36室	63室	5室 6室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体 495研究室		
	健康科学部 看護学科			23 室				
(5) 新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	電子ジャーナルは、大学全体での共有分。図 書、学術雑誌、視聴覚資料については、薬 学部、理学部での共有分。大学全体での共有 分を含む。 図書(全体) 434,304冊 [163,270冊] 449,246冊 [166,866冊] 449,266冊 [170,866冊] 442,953冊 [171,866冊] 学術雑誌(全体) 4,870冊 [2,494冊] 4,903冊 [2,509冊] 4,982冊 [2,528冊] 5,046冊 [2,512冊] 大橋病院移転に伴い、雑誌学術雑誌等の除 籍に伴い減少。(元) 図書-雑誌-視聴覚資料の増減分は、計画 的除籍を開始のため、電子ジャーナルは有 料契約から無料公開に移行したため。(29) 図書-雑誌-視聴覚資料の増減分は、新規 購入-除籍のため、電子ジャーナルは契約 タイトル数の変更のため。(29)
		209,311 [78,831] 213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,581 [975] 1,576 [975] 1,586 [992]					
	209,311 [78,831] 213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,581 [975] 1,576 [975] 1,586 [992]	8,724 [7,299] 9,700 [8,153] 10,149 [8,150] 10,159 [8,231]	2,746 2,923 3,031 3,057	46,622 45,798 30,219 30,269	(0)		
	209,311 [78,831] 213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,581 [975] 1,576 [975] 1,586 [992]	8,724 [7,299] 9,700 [8,153] 10,149 [8,150] 10,159 [8,231]	2,746 2,923 3,031 3,057	46,622 45,798 30,219 30,269	(0)		
	209,311 [78,831] 213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,581 [975] 1,576 [975] 1,586 [992]	8,724 [7,299] 9,700 [8,153] 10,149 [8,150] 10,159 [8,231]	2,746 2,923 3,031 3,057	46,622 45,798 30,219 30,269	(0)		
	209,311 [78,831] 213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,581 [975] 1,576 [975] 1,586 [992]	8,724 [7,299] 9,700 [8,153] 10,149 [8,150] 10,159 [8,231]	2,746 2,923 3,031 3,057	46,622 45,798 30,219 30,269	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 座席カト方法の見直しを行った ため(元)	
	6,517.65 m ² 7,433.04 m ² 6,965.12 m ²		748 席 675 席 623 席 629 席		481,802 冊 513,519 冊 534,024 冊 537,320 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				びびセンターの大幅な改修のため (30) びびセンター改修のため(29)	
	8,315.58 m ²		弓道場射場					
(8) 経費の見積り 及び 維持方法 の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書館費には電子ジャーナル・データベース の整備費・その他の経費(運用コスト含 む)を含む。 経費の見積りについては、既存学部 と調整の上、変更した。(29) 図書費においては、その他経費の追 加に伴い増額。(29) 経費の見積りについては、既存学部 と調整の上、変更した。(30) 経費の見積りについては、年次計画 に基づき、変更した。(元)
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	6,000千円	47,870千円 47,995千円 47,953千円 6,000千円	
	共同研究費等	5,875千円 5,625千円	5,875千円 5,625千円	設備購入費	75,822千円	12,868千円 3,748千円 8,125千円 75,822千円	12,868千円 3,748千円 8,125千円 75,822千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東 邦 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医学部										
医学科	6	115	-	685	学士 (医学)	1.00		昭和27年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	※平成27年度 医学部医学科入 学定員増 (5人)
薬学部										
薬学科	6	220	-	1,320	学士 (薬学)	1.15		平成18年度	千葉県船橋市三山二 丁目2番1号	
理学部						1.11				
化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.15		昭和25年度	同上	
生物学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.15		昭和25年度	同上	
生物分子科学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.09		平成元年度	同上	
物理学科	4	70	-	280	学士 (理学)	1.12		昭和58年度	同上	
情報科学科	4	100	-	400	学士 (理学)	1.08		平成元年度	同上	
生命圏 環境科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.11		平成17年度	同上	
看護学部										
看護学科	4	102	-	408	学士 (看護学)	1.10		平成23年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
健康科学部										
看護学科	4	60	-	180	学士 (看護学)	1.14	平成29年度	平成29年度	千葉県船橋市三山二 丁目2番1号	
大学全体 (学部)		967	20	4,473	-	1.10	-	-	-	
医学研究科										
医科学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (医科学)	1.10		平成18年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
医学専攻 (博士課程)	4	35	-	140	博士 (医学)	1.07		平成22年度	同上	
薬学研究科										
薬科学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士 (薬科学)	0.55		平成22年度	千葉県船橋市三山二 丁目2番1号	
医療薬学専攻 (博士課程)	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.00		平成24年度	同上	

理学研究科									
化学専攻 (博士前期課程)	2	16	-	32	修士 (理学)	1.53	昭和57年度	同上	
化学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.33	昭和59年度	同上	
生物学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (理学)	0.83	昭和57年度	同上	
生物学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.66	昭和59年度	同上	
生物分子科学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.60	平成5年度	同上	
生物分子科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.00	平成7年度	同上	
物理学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.88	昭和61年度	同上	
物理学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	昭和63年度	同上	
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.55	平成5年度	同上	
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	平成8年度	同上	
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	6	-	12	修士 (理学)	1.66	平成21年度	同上	
環境科学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (理学)	0.50	平成23年度	同上	
看護学研究科									
看護学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (看護学)	0.46	平成25年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
看護学専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (看護学)	0.40	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
8	4	5	7	24	10	4	5	8	27
(7)	(2)	(2)	(1)	(12)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
9	4	5	8	26	9	4	5	8	26
[1]	[0]	[0]	[1]	[2]	[1]	[0]	[0]	[1]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65（教授）	3 [1]	2 [0]
60（准教授、講師、助教）		
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{24} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{27} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1				必修	がん看護・緩和ケア	①							
				必修	看護の基本技術Ⅳ	①							
				必修	臨床実践Ⅱ	①							
				必修	看護研究入門	①							
				必修	看護研究	①							
				必修	臨床実践技術の探究	①							
				選択	チーム活動論	①							
				必修	看護実践の探究	①							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし		必修							
				選択							
				必修							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{1}{24} = 4.16\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし	必修				
			選択				
			必修				
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0	計	0

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任辞退であったため、学生の履修等への影響はないものと考えている。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・健康科学部看護学科 の入学定員超過の改善 に努めること。	改善意見 学定員の大幅に超過した反 省を踏まえ、入試の合格者 の繰り上げ方法等を学部と して見直し、入学超過率は 1.08倍に低下した。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (31年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成29年4月1日より、「東邦大学健康科学部FD委員会」を設置した（添付資料：「東邦大学健康科学部FD委員会規程」）。また、下部組織として「FD企画検討会」（教員4名）、「研究推進検討会」（教員4名）、「連携推進検討会」（教員3名）を置く。平成31年度・令和元年は、「FD企画検討会」と「連携推進検討会」は委員会に吸収し、「研究推進検討会」を「健康科学ジャーナル編集会」（教員5名）に名称変更し下部組織に置いている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として毎月第4水曜日に開催する。出席者は委員3名および担当事務職員（教務事務担当）。

c 委員会の審議事項等

教育ワークショップ等の企画・立案および実施

d FD委員会担当以外の学部内FD活動

学部長主催のFD：FD特別企画「新任教員ガイダンス・新任教員ガイダンス」

平成30年度4月に着任した新任教員(10名)を対象に1回、および、新任教員(5名)を対象に3回実施

② 実施状況

a 実施内容

1) 第2回教育ワークショップ（平成30年9月20日（木）開催）

テーマ：トランスレーショナル教育の構築に向けて ルーブリック理論の看護教育への応用－

① 講演「ルーブリック理論と看護教育への活用」

演者：片岡 竜太 氏（昭和大学歯学部歯学教育学教授）

榎田めぐみ 氏（昭和大学保健医療学部保健医療学教育学准教授）

② グループワークの実施

2) 東邦大学健康科学ジャーナル第1巻の発刊（12月）、第2巻の発刊準備

* 第1巻第1号は、東邦大学機関リポジトリ、健康科学部ホームページに掲載。

3) 社会貢献・連携活動の集約

平成30年度の健康科学部教職員の社会貢献・連携活動

・ 地域におけるボランティア活動等 4件

・ 地域への保健医療活動 0件

・ 審議会、委員会等 3件

・ 職能団体委員等 3件

・ 学会、学術団体への貢献 31件

・ 講演会（公開講座を含む）／研修会の講師・研究指導等 28件

・ その他 7件

4)FD特別企画「新任教員ガイダンス・新人教員ガイダンス」

新任教員へのガイダンス（5月30日（水）開催） 学部長・副学部長・委員長・領域長から説明と意見交換

内容：組織の概要（大学全体、習志野キャンパスの組織、学部の組織編制）

委員会の概要（任務と役割分担、委員会内外との連携方法、活動の目標と計画など）

教務委員会、入試委員会、広報委員会、領域間の連携

本学の教育（大学の教育の特徴、本学部の教育の特徴）

新人教員へのガイダンス 3回シリーズで実施

1回目（5月30日（水）開催） 学部長・副学部長から説明と意見交換

内容：大学教育、看護系大学における看護人材養成の在り方、看護学教育の質保証・向上の取組み
教育活動を体験して

2回目（8月6日（月）開催） 学部長・渡邊教授（司会）

内容：「大学新任教員のための研修会2018」報告と学びの共有

※日本私立看護系大学協会「大学新任教員のための研修会2018」（8月4日（土）開催）参加

3回目（2月25日（月）開催） 日本私立看護系大学協会「大学新任教員のための研修会2018」参加

テーマ：看護系大学教員としてのキャリア発達（教育活動のリフレクションを含む）

①講師：佐藤 紀子 氏（東京慈恵会医科大学 教授）

②課題の発表と意見交換

b 実施方法

上記a参照

c 開催状況（教員の参加状況含む）

第2回教育ワークショップ：健康科学部教職員25名（着任予定教員含む）、教務事務2名、計27名

FD特別企画「新任教員ガイダンス」：教員4名、新任教員10名、計14名

FD特別企画「新人教員ガイダンス」：1回目教員2名、新人教員5名、計7名

2回目教員3名、新人教員5名、計8名

3回目教員2名、新人教員5名、計7名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

グループワークでは、ルーブリック作成の第一段階とすべく、看護の基本技術Ⅰ～Ⅹを題材とし、卒業時の到達目標、2年次の到達目標について検討を行うなど、実践に則した内容とした。ワークショップの内容は報告書（PDF版）として取り纏め、教職員での情報の共有化を図り、授業改善に生かす。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

教務委員会を中心に、「評価に基づく授業の改善」を目的とし、授業評価アンケートを実施している。

アンケートの対象は全授業科目とし、教務システム（ActiveAcademy）を用い、Web上で実施している。

実施時期は、講義・演習および実習の最終日から3日以内（終了日を含めて4日間）に回答するようになっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの結果は教務システム上で公開し、学生、教員とも結果を閲覧できる。公開の時期は定期試験終了後2週間としている。アンケート結果公開後、科目担当者より結果に対するコメントを提出させ、学生にフィードバックしている。

なお、兼任・兼任講師などで教務システムを利用できない教員に対しては、紙ベースで結果を知らせるなど、周知徹底を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康科学部看護学科は、本学の建学の精神である「自然・生命・人間」に基づき、千葉県の看護師需給事情の解消に努めるとともに、時代に即した「地域完結型医療」を目指した看護教育の実践により、豊かな人間性を有した人材を育成することを目的に設置した。2016（平成28）年4月27日付の「東邦大学健康科学部看護学科設置届出に係る提出書類」に付した「設置の趣旨等を記載した書類」の項目ごとの達成状況、届出時と2019（令和元）年5月1日現在との変更状況等について記述する。

1. 設置の趣旨及び必要性

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

2. 学部・学科等の特色

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。アドミッション、カリキュラム、ディプロマの3ポリシーはホームページ（<https://www.toho-u.ac.jp/health/index.html>）に掲載し、周知を図っている。

3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

平成29年度春学期（前期）から令和元年度春学期（前期）開講科目については、未開講の科目はなく、予定していた科目のすべてを開講することができた。平成30年度秋学期（後期）開講科目についても、平成30年5月1日現在、教員の辞退等の事由により未開講の予定となっている科目はなく、順調に履行している。また、教育課程の編成は「健康科学部教務委員会」において検討を行っている。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

専任教員については、平成30年度の設置計画履行状況報告以来、以下のとおり変更が生じた。

- 1) 公衆衛生看護学領域の特任教授1名を追加採用した。
- 2) 助教の就任辞退に伴い、助教1名を採用した。
- 3) 精神看護学領域の助教1名を採用した。

就任辞退の助教1名の担当予定科目については、後任の助教が担当を行うこととし、就任辞退に伴う問題点等は発生していない。

また、令和元年度も助手を4名採用し、主に臨地実習の補助などを担当する。大幅な入学者数の超過があった平成29年度入学者の3年次への進級に伴い、3年次開講の臨地実習などを中心に補助を行う予定となっている。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

大幅な入学者数の超過があった平成29年度入学者の3年次への進級に伴い、3年次開講の臨地実習施設の増加に係る指定変更承認申請を行う。ただし、平成29年度の設置計画履行状況報告以来、教育方法に変更は生じていない。なお、履修指導方法および卒業要件についても届出時と変更はない。

7. 施設、設備等の整備計画

当初計画していた備品等の購入は、計画どおり順調に履行している。

8. 入学者選抜の概要

アドミッション・ポリシーに基づき、当初計画していた入試をすべて実施し、順調に計画を履行した。特に入学者数管理については引き続き慎重な繰上げ合格を実施し、最終的な入学者は64名、定員超過は1.06倍となった。令和2年度入試より、新たに同窓生子女入試およびセンター試験入試+（プラス）を導入する。

9. 取得可能な資格

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

10. 実習の具体的計画

大幅な入学者数の超過があった平成29年度入学者の3年次への進級に伴い、3年次開講の以下の科目について、実習施設の増加に係る指定変更承認申請を行う。

- ・在宅看護実習（1単位・後期開講・必修）：2施設
- ・コミュニティヘルス看護実習（2単位・後期開講・必修）：5施設
- ・公衆衛生看護学実習Ⅰ（2単位・後期開講・選択）：2施設
- ・公衆衛生看護学実習Ⅱ（2単位・後期開講・選択）：1施設

11. 管理運営
 当初の計画どおりに履行している。
 教授会は令和元年5月1日現在、専任の教授7名により構成され、原則として毎月第1水曜日に実施する。
 また、特任教授3名もオブザーバーとして参加する。
 准教授、講師および助教の健康科学部専任教員が参加する委員会も開催し、学部長による教授会報告の他、各種連絡事項の報告、懸案事項の検討等を行い、健康科学部を構成する全教員が情報を共有し、学生教育および学部運営の円滑な実施を目指している。
12. 自己点検・評価
 本学の他学部と同様、健康科学部においても「東邦大学健康科学部自己点検・評価委員会規程」を平成29年4月1日より施行し、委員会が発足している。平成30年度は令和元年度の受審に向けた自己点検・評価報告書の作成作業を中心に行った。
 ○学部の内部質保証の取組み
 ・各委員会および教員組織の各領域の活動の振り返り：
 委員会の任務や学部の組織目標に照らして平成30年度に関する年間の活動の総括を実施した。
 その結果および平成30年度学部組織目標を踏まえて令和元年度の活動計画を立案している。
 ・平成30年度の年報について：
 編集実務は自己点検・評価委員会を中心に行う。なお、平成29年度年報は「年報編集担当会」（構成員：教授（責任者）、自己点検・評価委員長、准教授2名、講師2名）を中心に編集作業を行っている。
13. 情報の公表
 ○大学の教育研究上の目的に関すること
 トップページ>健康科学部>学部のご紹介>学部の特徴・目的
 (<https://www.toho-u.ac.jp/health/course/feature.html>)
 ○入学者に関する受入れ方針
 トップページ>健康科学部>入試について>入試情報/アドミッション・ポリシー
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/info_exam/sum.html)
 ○卒業又は修了した者の数、進学者数及び就職者数、就職等の状況に関すること
 * 開設3年目のため未開設
 ○授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
 * 現在、シラバスの掲載を準備作業中
 ○学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
 トップページ>健康科学部>教育内容>カリキュラム>カリキュラムについて
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/edu/curriculum/about_curriculum.html)
 ○教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報
 トップページ>健康科学部>学部のご紹介>学部の特徴・目的
 (<https://www.toho-u.ac.jp/health/course/feature.html>)
 ○取得できる主な資格・学位
 トップページ>健康科学部>進路・就職について>主な資格と学位
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/career/main_way.html)
 ○ディプロマ・ポリシー
 トップページ>健康科学部>学部のご紹介>ディプロマ・ポリシー
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/course/diploma_policy.html)
14. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等
 当初の計画どおりに履行している。詳細については、上記「(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)」に記載。
15. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制
 当初の計画どおりに履行している。
 教育課程外の取組については、学生の生活支援および学生の進路・就職支援を目的とした健康科学部学生委員会を中心に行っている。
 実施内容
 ・令和元年度1年生を対象に、春学期ガイダンスにて、習志野キャリア支援センターおよび看護企画室を紹介
 ・キャリア形成支援ガイダンス：1~3年生を対象に、看護職に関する講演を開催予定。3年生に対しては平成31年4月3日（水）に東邦大学医療センター3病院の紹介と就活セミナー・自己分析講座を実施した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2013（平成25）年3月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（https://www.toho-u.ac.jp/univ/hojin_info/juaa.html）

③ 認証評価を受ける計画

- ・2012（平成24）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けている（認定の期間は2020（令和2）年3月31日まで）。
- ・2018（平成30）年度に全学自己点検・評価報告書を作成し、2019（令和元）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審する。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 7月末 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。